

会話を落とさない12のことば（教室にはっておく1枚）

やり取りが1往復で終わるのは、言うことが無いからではなく「止まったときの道具」を持っていないからです。この12本は覚えさせるものではなく、貼っておいて、止まった子が目を上げれば見つかる場所に置いておくもの。読んで思い出せれば十分です。

How about you?

あなたはどう？

答えたら、かならず返す（これが無いと1往復で終わる）

Me, too!

わたしも！

同じだったとき

Really?

ほんとう？

おどろいたとき

Nice! / Great!

いいね！

相手のことをいいなと思ったとき

Why?

どうして？

もう一歩ふみこみたいとき

Because

だって～だから

Why? に答えるとき

Tell me more.

もっと教えて

話をつづけてほしいとき

Sorry?

え、なんて？

聞こえなかったとき

One more time, please.

もう1回おねがいします

もう一度言ってほしいとき

You mean pizza, right?

ピザってこと？

合っているか確かめたいとき

Let me see....

えーっと……

考える時間がほしいとき（だまるかわりに言う）

Thank you! / You're welcome.

ありがとう／どういたしまして

終わるとき

先生へ 色のついた3本がいちばん大事です。子どもは自分からは聞き返しません（分からなくても分かったふりでやり過ごします）。この3本だけは、先生が最初の1か月、毎回わざと使ってみせてください。